

平成 11 年における港勢データ

1. 概要

平成 11 年における博多港の港勢は、船舶入港隻数が 40,346 隻(対前年比 100.3%)総トン数は 5,606 万総トン(同 100.3%)と増加した。

〈表-1, 図-1 参照〉また、海上出入貨物量は、移出・移入が前年に比べ減少したが、輸出・輸入が増加したため 3,584 万トン(同 101.9%)と伸びを示した。〈表-2, 図-2 参照〉

図-1 入港船舶の推移

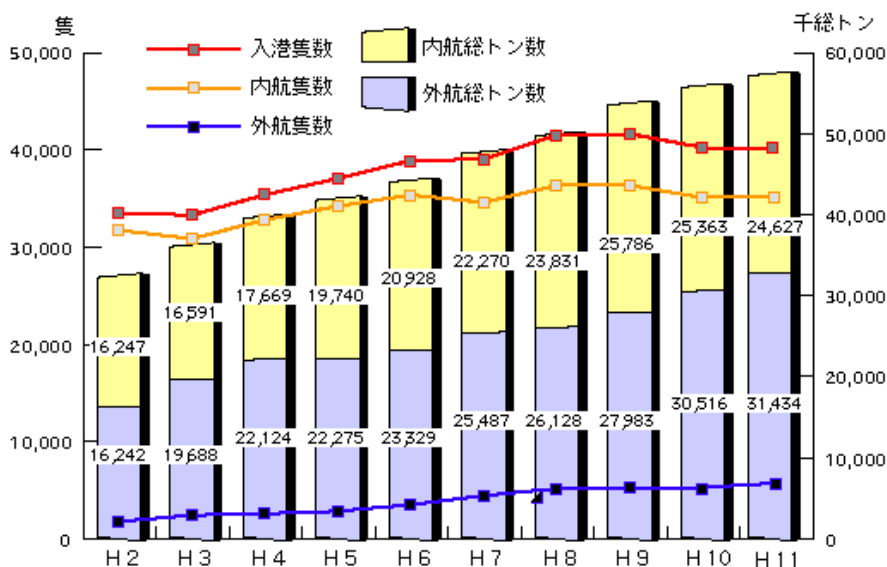
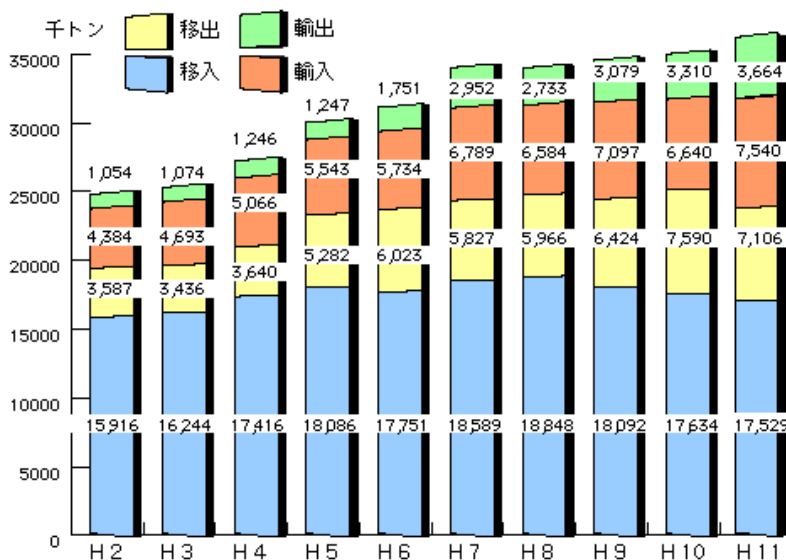


図-2 取扱貨物量の推移



※フェリー(自動車航送船)による航送車両トン数は含まない

2. 入港船舶

博多港の入港船舶数は 40,346 隻(対前年比 100.3%)、総トン数が 5,606 万総トン(同 100.3%)であった。これを外内航別に見ると、外航は隻数 5,437 隻(同 105.5%)・総トン数 3,143 万総トン(同 103.0%)、内航は隻数 34,909 隻(同 99.5%)・総トン数 2,463 万総トン(同 97.1%)であった。〈表-1 参照〉

表-1 入港船舶の推移

(単位:隻、総トン)

区分		平成 11 年		10 年		9 年		8 年	
		数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
外航	隻数	5,437	105.5%	5,152	97.4%	5,287	102.3%	5,168	116.1%
	総トン数	31,434,123	103.0%	30,515,568	109.1%	27,982,762	107.1%	26,128,410	102.5%
内航	隻数	34,909	99.5%	35,071	96.5%	36,343	100.0%	36,339	105.1%
	総トン数	24,626,720	97.1%	25,363,404	98.4%	25,786,097	108.2%	23,830,959	107.0%
総数	隻数	40,346	100.3%	40,223	96.6%	41,630	100.3%	41,507	106.3%
	総トン数	56,060,843	100.3%	55,878,972	103.9%	53,768,859	107.6%	49,959,369	104.6%

3. 海上出入貨物量

海上出入貨物量のうち、外国貿易の占める割合は 31.3%・1,120 万トン、また内国貿易は 68.7%・2,463 万トンとなっている。輸移出入別に見ると、輸移出は 30.1%・1,077 万トン、輸移入は 69.9%・2,507 万トンとなっており、博多港が輸移入中心の港湾であることを示している。〈表-2 参照〉

表-2 海上出入貨物量の推移

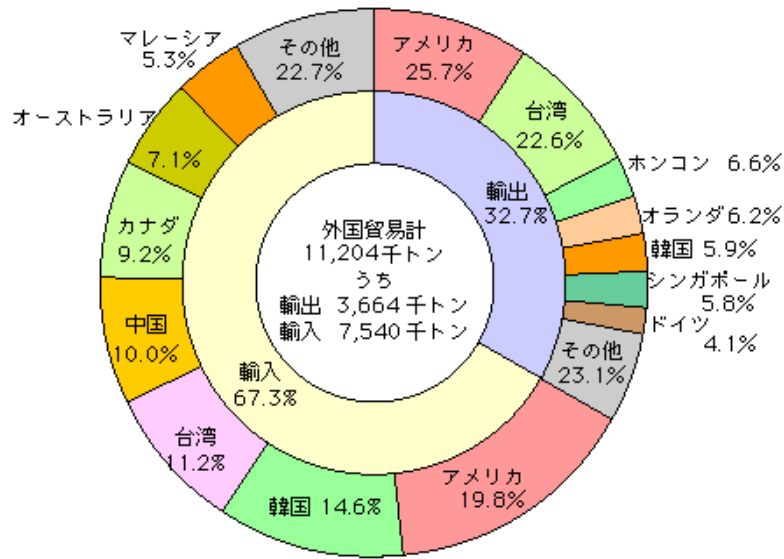
(単位:トン)

区分		平成 11 年		10 年		9 年		8 年	
		数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
外国貿易	輸出	3,663,816	110.7%	3,310,235	107.5%	3,079,474	112.7%	2,732,806	92.6%
	輸入	7,539,928	113.5%	6,640,259	93.6%	7,097,007	107.8%	6,584,389	97.0%
	計	11,203,744	112.6%	9,950,494	97.8%	10,176,481	109.2%	9,317,195	95.6%
内国貿易	移出	7,105,764	93.6%	7,590,070	118.1%	6,424,497	107.7%	5,965,895	102.4%
	移入	17,528,518	99.4%	17,633,699	97.5%	18,091,939	96.0%	18,848,076	101.4%
	計	24,634,282	97.7%	25,223,769	102.9%	24,516,436	98.8%	24,813,971	101.6%
総数	輸移出	10,769,580	98.8%	10,900,305	114.7%	9,503,971	109.3%	8,698,701	99.1%
	輸移入	25,068,446	103.3%	24,273,958	96.4%	25,188,946	99.0%	25,432,465	100.2%
	計	35,838,026	101.9%	35,174,263	101.4%	34,692,917	101.6%	34,131,166	99.9%

※フェリー(自動車航送船)による航送車両トン数は含まない

3-1. 外国貿易

図-3 外国貿易(輸出入相手国・地域別)



3-1-1. 輸出

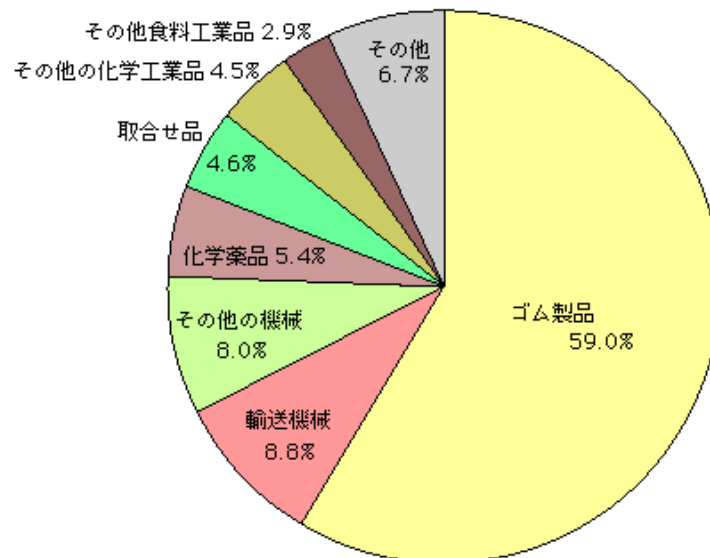
(1)貨物量

輸出貨物量は 3,664 千トン(対前年比 110.7%)であり、外国貿易の約 32.7%を占めている。<表-2, 図-3参照>

(2)品種別

輸出貨物量 3,664 千トンのうち、「ゴム製品」が 2,163 千トン(59.0%)、「輸送機械」が 323 千トン(8.8%)、「その他の機械」が 295 千トン(8.0%)であった。<図-4参照>

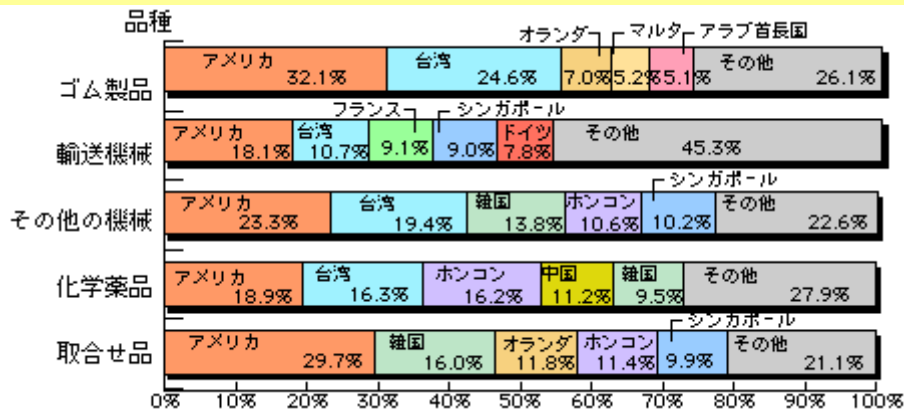
図-4 輸出(3,664千トン)



(3)主要国・地域別

輸出相手国・地域別では、アメリカが 940 千トン(25.7%)、台湾が 830 千トン(22.6%)、ホンコンが 243 千トン(6.6%)以下オランダ・韓国と続いている。<図-3参照>

図-5 上位5品種の輸出相手国・地域割合



3-1-2. 輸入

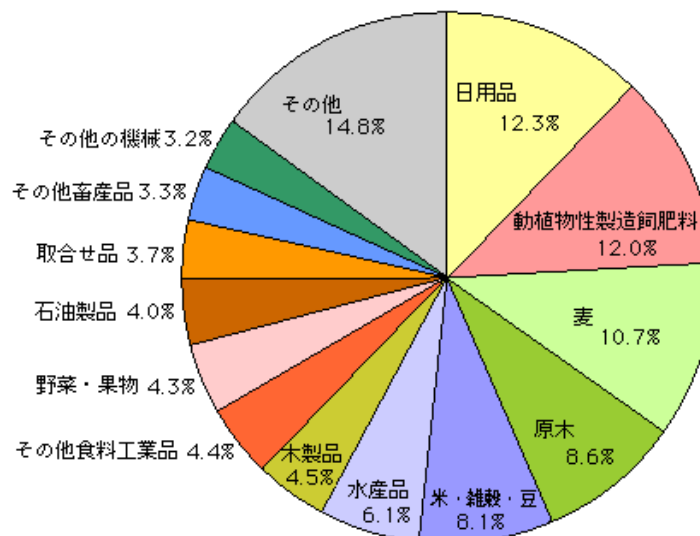
(1)貨物量

輸入貨物量は 7,540 千トン(対前年比 113.5%)であり、外国貿易の約 67.3%を占めている。<表-2, 図-3参照>

(2)品種別

輸入貨物量 7,540 千トンのうち、「日用品」が 925 千トン(12.3%)、「動植物性製造飼肥料(牧草)」が 902 千トン(12.0%)「麦」が 807 千トン(10.7%)であった。<図-6参照>

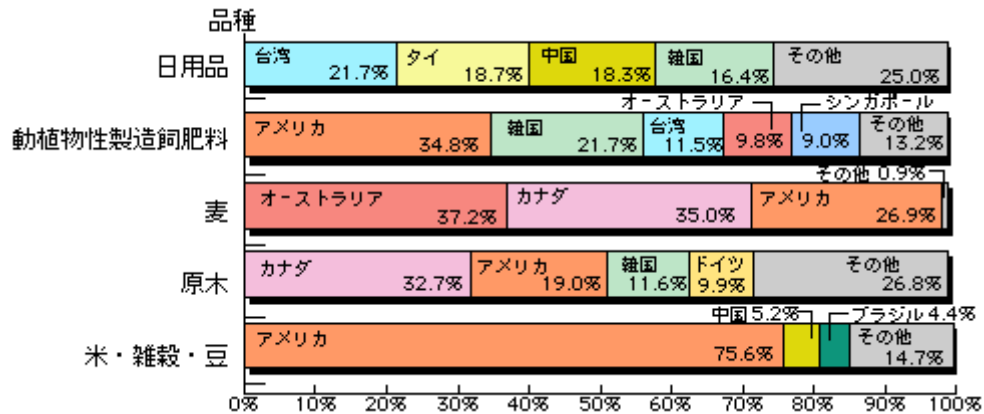
図-6 輸入(7,540千トン)



(3)主要国・地域別

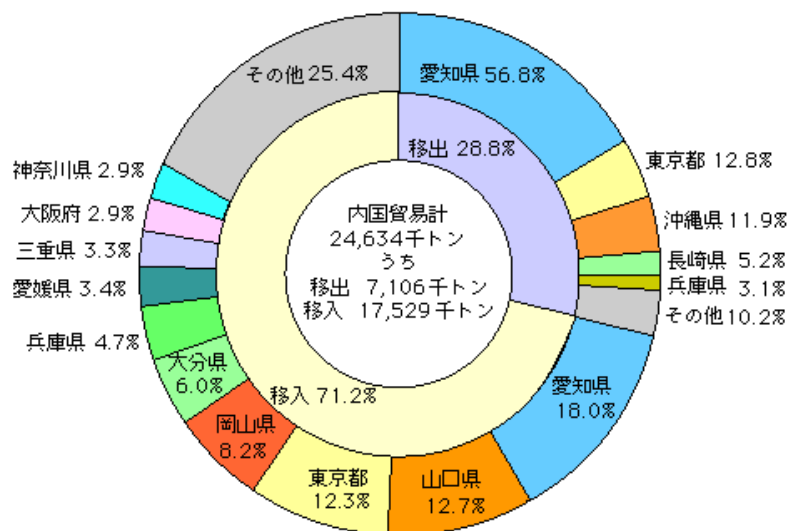
輸入相手国・地域別では、アメリカが 1,494 千トン(19.8%)、韓国が 1,101 千トン(14.6%)、台湾が 847 千トン(11.2%) 以下中国・カナダと続いている。<図-3参照>

図-7 上位5品種の輸入相手国・地域割合



3-2. 内国貿易

図-8 内国貿易(移出・移入相手県別)



3-2-1. 移出

(1)貨物量

移出貨物量は 7,106 千トン(対前年比 93.6%)であり、内国貿易の約 28.8%を占めている。<表-2, 図-8参照>

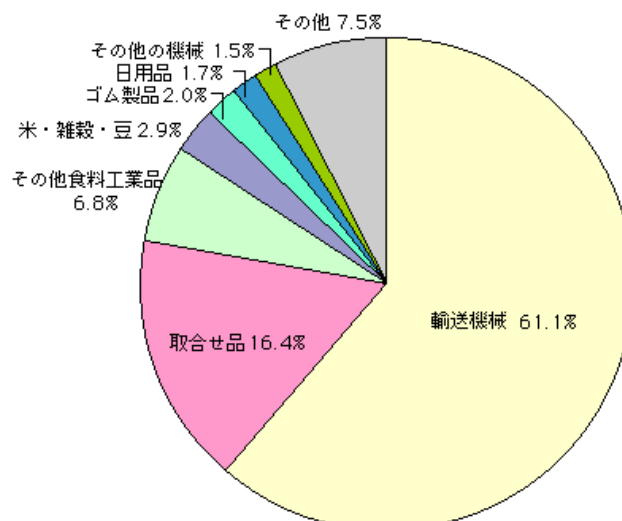
(2)品種別

移出貨物量 7,106 千トンのうち、「輸送機械」が 4,339 千トン(61.1%)、「取合せ品(詳細が不明な混載貨物)」が 1,165 千トン(16.4%)、「その他食料工業品」が 485 千トン(6.8%)であった。<図-9参照>

(3)主要都道府県別

移出相手都道府県別では、愛知県が 4,038 千トン(56.8%)、東京都が 908 千トン(12.8%)、沖縄県が 844 千トン(11.9%) 以下長崎県・兵庫県と続いている。<図-8参照>

図-9 移出(7,106千トン)



3-2-2. 移入

(1)貨物量

移入貨物量は 17,529 千トン(対前年比 99.4%)であり、内国貿易の約 71.2%を占めている。<表-2, 図-8参照>

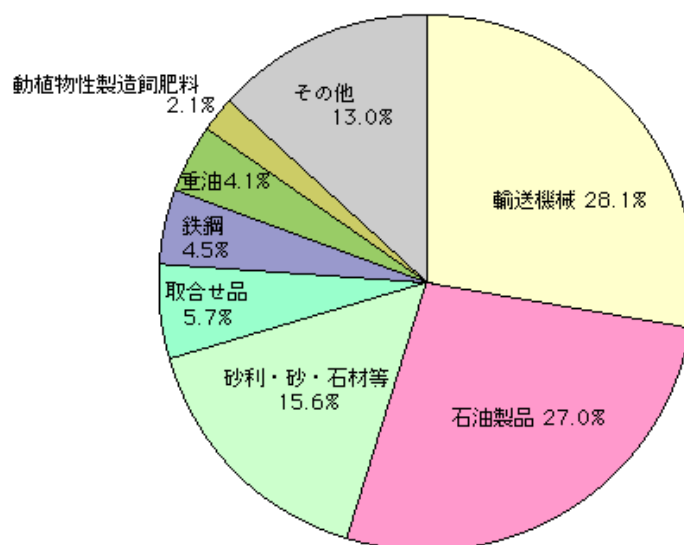
(2)品種別

移入貨物量 17,529 千トンのうち、「輸送機械」が 4,923 千トン(28.1%)、「石油製品」が 4,737 千トン(27.0%)、「砂利・砂・石材等」が 2,728 千トン(15.6%)であった。<図-10参照>

(3)主要都道府県別

移入相手都道府県別では、愛知県が 3,158 千トン(18.1%)、山口県が 2,230 千トン(12.7%)、東京都が 2,158 千トン(12.3%)以下岡山県・大分県と続いている。<図-8参照>

図-10 移入(17,529千トン)



4. 国際海上コンテナ貨物

国際海上コンテナ貨物は、移出・移入は減少したものの、輸出・輸入が増加したため、総取扱個数としては 433,858 TEU(対前年比 119.5%)と過去最高を記録した。〈表-3, 図-11 参照〉

図-11 国際海上コンテナ個数の推移

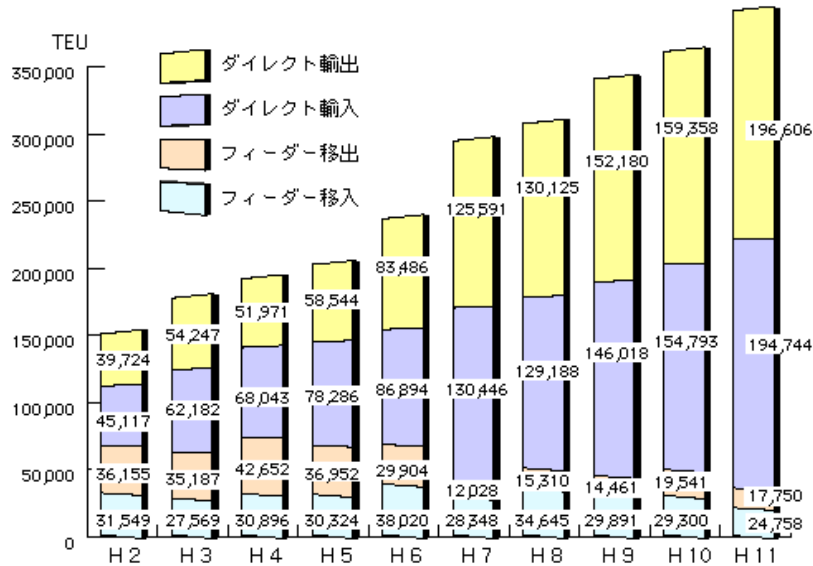


表-3 国際海上コンテナ取扱個数の推移

(単位: TEU)

区分		平成 11 年		10 年		9 年		8 年	
		個数	前年比	個数	前年比	個数	前年比	個数	前年比
(ダイレクト) 外国貿易	輸出	196,606	123.4%	159,358	104.7%	152,180	116.9%	130,125	103.6%
	輸入	194,744	125.8%	154,793	106.0%	146,018	113.0%	129,188	99.0%
	計	391,350	124.6%	314,151	105.3%	298,198	115.0%	259,313	101.3%
(フィーダー) 内国貿易	移出	17,750	90.8%	19,541	135.1%	14,461	94.5%	15,310	127.3%
	移入	24,758	84.5%	29,300	98.0%	29,891	86.3%	34,645	122.2%
	計	42,508	87.0%	48,841	110.1%	44,352	88.8%	49,955	123.7%
総数	輸移出	214,356	119.8%	178,899	107.4%	166,641	114.6%	145,435	105.7%
	輸移入	219,502	119.2%	184,093	104.7%	175,909	107.4%	163,833	103.2%
	計	433,858	119.5%	362,992	106.0%	342,550	110.8%	309,268	104.3%

※ TEU(Twenty-foot Equivalent Unit):コンテナ個数を数えるときの単位で、20 フィート換算個数のこと。20 フィートコンテナ 1 個が 1TEU です。40 フィートコンテナ 1 個は、2TEU となります。

※ 国際海上コンテナの考え方

博多港における実質的な外国貿易コンテナ貨物(最終的に諸外国の港湾との間で取り引きされるコンテナ貨物)です。

1) ダイレクトコンテナ(外国貿易扱い)

博多港と諸外国の港湾との間で直接取り引きされるコンテナ貨物です。

2) フィーダーコンテナ(内国貿易扱い)

国内の他の港湾で中継(トランシップ)され、博多港と諸外国の港湾との間で取り引きされるコンテナ貨物です。

5. 船舶乗降人員

乗込・上陸人員合計で、外国航路においては27万人(対前年比 134.8%)、内国航路においては154万人(同 100.9%)、総計182万人(同 104.8%)であった。<図-12, 表-4参照>

図-12 船舶乗降人員の推移

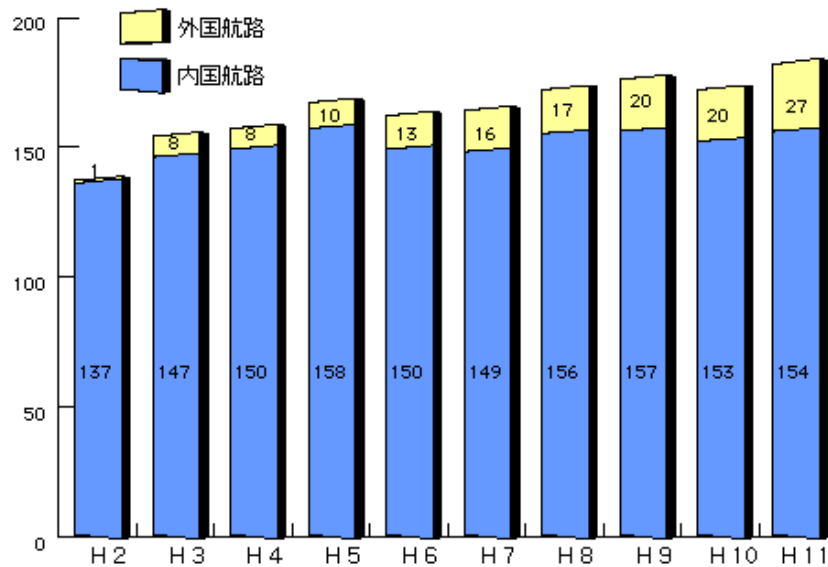


表-4 船舶乗降人員の推移

(単位:人)

区分		平成11年		10年		9年		8年	
		人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比
外国航路	乗込人員	138,620	134.7%	102,923	100.8%	102,056	114.1%	89,459	107.7%
	上陸人員	133,639	134.9%	99,094	99.3%	99,752	116.9%	85,362	112.0%
	計	272,259	134.8%	202,017	100.1%	201,808	115.4%	174,821	109.8%
内国航路	乗込人員	791,019	100.2%	789,785	97.9%	807,003	100.5%	802,634	104.8%
	上陸人員	752,236	101.6%	740,030	97.5%	759,283	100.2%	757,483	104.8%
	計	1,543,255	100.9%	1,529,815	97.7%	1,566,286	100.4%	1,560,117	104.8%
総計	乗込人員	929,639	104.1%	892,708	98.2%	909,059	101.9%	892,093	105.1%
	上陸人員	885,875	105.6%	839,124	97.7%	859,035	101.9%	842,845	105.5%
	計	1,815,514	104.8%	1,731,832	97.9%	1,768,094	101.9%	1,734,938	105.3%